



公衆送信 とは・・・

放送、有線放送、インターネット送信その他の方法により、不特定の者または特定多数の者（公衆）に送信すること。サーバに保存するなどインターネット送信できる状態にすること（送信可視化）を含む（著作権法第2条）

教材(著作物)をメール添付等で送信し、学生が受信・利用する



👉👈 どちらの場合も①の行為が公衆送信です



教材(著作物)をサーバにアップロードし、学生がダウンロード・利用する

Q1

授業のスライド資料(パワーポイントなど)の一部に写真・PDF文書等を張るのは違法でしょうか？

A1

**対面のみ授業なら従来から無許諾・無償で使用可能。
公衆送信を伴う授業については、許諾は不要だが補償金の支払いが必要。
(2021.4-)**

パワーポイントなどでスライドの一部に写真・PDF文書等を張り、対面授業で使用するの著作権法第35条「学校その他の教育機関における複製等」で認められている複製行為にあたり、(不当に著作権者に不利益をもたらすような複製でなければ)問題ありません。

しかし、これらを公衆送信(サーバにデータを載せて閲覧可能にするなど)する行為は、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に補償金を支払う必要がある行為で、2020年度については、コロナ禍でのオンライン授業の円滑な実施のため特例的に補償金の支払いが免除されている行為です。

Q2

著作物を授業で使用するときは、引用先を示すようにしているが、それをオンライン授業で使用する場合には、問題になるということでしょうか？逆に対面授業での使用は許されるということでしょうか？

A2

対面のみの授業なら従来から無許諾・無償で使用可能。
公衆送信を伴う授業については、許諾は不要だが補償金の支払いは必要。
(2021.4-)

はい。対面授業のために、他者の著作物を複製する行為は、(不当に著作権者に不利益をもたらすような複製でなければ)著作権法第35条「学校その他の教育機関における複製等」で認められている(問題ないとされている)複製行為にあたります。

しかし、これらを公衆送信(サーバにデータを載せて閲覧可能にするなど)する行為は、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に補償金を支払う必要がある行為で、2020年度については、コロナ禍でのオンライン授業の円滑な実施のため特例的に補償金の支払いが免除されている行為です。

Q3

授業の予習、復習、課題レポートのために、ネット検索して出した倫理綱領やガイドラインをWebClassに添付(PDF)しているのですが、予習、復習、課題を授業の範囲としてデータをUPしているのは良いのでしょうか。データを前期期間中のみと制限をかけるということで、注意はできると思うのですが。

A3

公衆送信にあたるため、許諾は不要だが補償金の支払いは必要。(2021.4-)
公衆送信可能な期間は前期中、後期中という解釈で良い。

こちらは、著作物の公衆送信にあたり、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に補償金を支払う必要がある行為です。

ただし、2020年度については、コロナ禍でのオンライン授業の円滑な実施のため特例的に補償金の支払いが免除されている行為です。

「予習、復習、課題を授業の範囲として」という理解について、条文では授業期間の定義が明記されていませんが、ご理解の通りで良いと思います。前期のみの授業であれば、前期終了をもってWebClassから削除(もしくは非公開)にすべきだと思われます。

なお、今回の例のようにWebから引用したい場合、URLのみの紹介であれば、授業期間終了後や、授業以外の目的でも問題なく公衆送信することができます。

Q4

自分が書いた論文も、投稿したら著作権は投稿先の学会が持つと思うのですがその図表など、授業で勝手に使用してはいけないのでしょうか？

A4

対面のための授業なら従来から無許諾・無償で使用可能。
投稿時に著作権が出版社・学会等に移るかどうかは投稿契約に依る。
投稿時に著作権の譲渡を行った場合、かつ、公衆送信を伴う授業については、許諾は不要だが補償金の支払いは必要。(2021.4-)

学会誌等への投稿は、投稿時の契約に著作権の扱いについて明記されているのが一般的です。仮に、その契約が「投稿先の学会が著作権を持つ」という内容であったとしても、図表などを対面授業で使用するの著作権法第35条「学校その他の教育機関における複製等」で認められている複製行為にあたり、(不当に著作権者(学会)に不利益をもたらすような複製でなければ)問題ありません。

しかし、これらを公衆送信(サーバにデータを載せて閲覧可能にするなど)する行為は、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に補償金を支払う必要がある行為で、2020年度については、コロナ禍でのオンライン授業の円滑な実施のため特例的に補償金の支払いが免除されている行為です。

Q5

Web上で公開されているイラストや、図書の挿絵イラストを、授業のパワーポイントに転載しました。問題ないでしょうか？

A5

対面のみの授業なら従来から無許諾・無償で使用可能。
公衆送信を伴う授業については、許諾は不要だが補償金の支払いは必要。
(2021.4-)

Web上で公開されているイラストや、図書の挿絵イラストを、対面授業のパワーポイントに転載するのは、著作権法第35条「学校その他の教育機関における複製等」で認められている(問題ないとされている)複製行為にあたります。

仮に、そのWebや書籍の使用規則に「転載不可」と明記されていたとしても、許諾なく使用可能です(もちろん、「転載不可」と明記されている以上、著作権者の主張と相いれないため、著作権者との争いが発生する可能性はありますが)。

ただし、授業目的に照らし合わせて、必要ではない部分(単なる資料の雰囲気づくりのための挿絵など)の利用はこの対象とはなりません。

なお、対面授業ではなく、これらの図を公衆送信(サーバにデータを載せて閲覧可能にするなど)する行為は、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に補償金を支払う必要がある行為で、2020年度については、コロナ禍でのオンライン授業の円滑な実施のため特例的に補償金の支払いが免除されている行為です。

Q6

他者の著作物を、授業用プリントに一部使うことがありますが、授業使用等でのフリー転載を認める文章を記している場合もあれば、何も書いてない場合もあるし、同じ図(もしくは色だけ違う酷似している図)が複数のHPに掲載されていて、どれが原図か分からないケースも時々あります。どうしたらいいのかわからない場合、どのように対応するのが適切なのでしょうか？

A6

対面のみの授業なら(使用可と明記されていなくても)従来から無許諾・無償で使用可能。公衆送信を伴う授業については、許諾は不要だが補償金の支払いは必要。(2021.4-)

Web上で公開されている図を、対面授業の配布プリントに転載するのは、著作権法第35条「学校その他の教育機関における複製等」で認められている(問題ないとされている)複製行為にあたります。

仮に、そのWebの使用規則に「転載不可」と明記されていたとしても、許諾なく使用可能です(もちろん、「転載不可」と明記されている以上、著作権者の主張と相いれないため、著作権者との争いが発生する可能性はありますが)。

どのHPが基(原図)で、どのHPが転載なのか、判断できないケースがあるとのことですが、逆に、そのようなことが起きないようにするためにも、著作物を転載する際には出典を明示することが望ましいです。なお、対面授業ではなく、これらの図を公衆送信(サーバにデータを載せて閲覧可能にするなど)する行為は、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に補償金を支払う必要がある行為で、2020年度については、コロナ禍でのオンライン授業の円滑な実施のため特例的に補償金の支払いが免除されている行為です。

Q7

授業の一環で、絵本を読み聞かせる動画をWebClassにアップロードすることは可能でしょうか？

A7

**読み聞かせの公衆送信について、許諾は不要だが補償金の支払いは必要。
(2021.4-)**

ただし、絵本に収録された一つのお話しの文と絵の「小部分」に限る。

読み聞かせに関しては、SARTRAS（授業目的公衆送信補償金等管理協会）によると、以下のように解説されています。

オンライン授業での読み聞かせは、絵本に収録された一つのお話しの文と絵の「小部分」であれば補償金を支払うことで実施可能である。しかし、いつでも何度でも園児や生徒が見られる状態に絵本のお話しの絵と文の「すべて」の読み聞かせ動画をアップする行為、添付ファイルで学生に送信する行為は著作権者の利益を不当に害する可能性が高いため、個別に権利者の許諾を得る必要がある。

Q8

授業の一環で、学生に担当してもらう箇所(1つの作品の10分の1程度)をコピーして郵送するのは可能でしょうか？

A8

授業に必要な教材として授業の過程においてその目的の範囲内で印刷(複製)したものであれば、許諾なく学生に郵送しても良い。

「授業目的での郵送」に関しては、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)によると、以下のように解説されています。

授業に必要な教材として授業の過程においてその目的の範囲内で印刷(複製)したものであれば、許諾なく学生に郵送しても良い。ただし、市販の教材をコピー・製本して市販の教材と同じような形態で提供することや、市場の売れ行きが低下するような使い方は、著作権者の利益を不当に害する場合に該当することがある。

Q1

Webで公開されている動画コンテンツを録画のうえ、授業で閲覧する、あるいはWebClassなどにアップロードすることは可能でしょうか？

A1

有料会員限定のものなどを除き、対面のみの授業なら従来から無許諾・無償で使用可能。

公衆送信を伴う授業なら(許諾は不要だが)補償金の支払いは必要

有料会員限定のものなどを除き、Webに公開されている動画を対面のみの授業で閲覧する行為は、著作権法第38条1項に定められた「非営利・無料の上映」に該当しますので、著作権者の許諾なく行える行為です。

しかし、公衆送信(サーバにデータを載せて閲覧可能にするなど)する行為は、SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に補償金を支払う必要がある行為で、2020年度については、コロナ禍でのオンライン授業の円滑な実施のため特例的に補償金の支払いが免除されている行為です。

後者(公衆送信を伴う授業)については、学生にはURLの紹介に留め、学生それぞれが視聴する、という形式をとっても良いかも知れません。

Q2

サークルが、入場料無料、本学大学生限定、で既にある楽曲のコピー演奏をした。
また、夜中にナイトムービーとしてTV録画したDVDの上映会をしたが、問題ないでしょうか？

A2

非営利・無料・無報酬の三条件を満たしていれば問題なし。

権利制限規定(例外規定)のうち、著作権法第38条で、非営利・無料・無報酬の三条件を満たしたときには、著作権者の了解なしに、著作物を「上演」、「演奏」、「上映」及び「口述」することが認められています。お問い合わせの件のうち、前者のコピー演奏については、非営利・無料・無報酬の三条件を満たしていれば問題ありません。

後者の上映会については、DVDの上映会や、TV番組を(録画ではなく)そのまま放映する上映会で、非営利・無料・無報酬で配信する形態であれば問題ないのですが、TV番組を録画(複製)して、さらにそれを上映するというのは権利制限規定(例外規定)に当てはまらず、違法となります。(別途、著作権者の許諾を取ることができれば開催可能です)

Q1

先生が用意したスライド内にある【参考文献を引用した内容】について、学生から「書くのが遅いのでスマホで写真撮っていいですか？」との質問がありました。認めても良いのでしょうか？

A1

私的利用のためであれば問題ありません。

著作権法第30条「私的利用のための複製」に該当する行為で、著作権上は問題ありません。

この「権利制限規定（例外規定）」が働く複製物の利用目的は学習・娯楽（仕事は除く）で、利用範囲は個人的・家庭内での利用のみに限られます。SNSへの投稿や、メール等で送信する行為、友人が利用する行為などは、その対象範囲外です。

Q2

個人利用のため、公表されている法令や指導要領、ネット記事、教科書等の重要な部分をコピーして一つの関連資料冊子として保管した。後日、良くまとめられていると友人に貸したがコピーされたかもしれない。問題ないでしょうか？

A2

私的利用のためであれば問題ありません。
友人に貸すのは私的利用の範囲を超えており、違法となる行為です。

複写し、冊子化し、保管するまでは、著作権法第30条の私的利用のための複製行為で、問題ありません。しかし、友人に貸した場合、私的利用の範囲を超え、違法となる行為です。

Q1

授業・研究について取説のようなものがあればと思います。

A1

文化庁が公開している「著作権なるほど質問箱(カテゴリー検索：学校などの教育機関における利用について教えてください。)」などがあります。

<https://pf.bunka.go.jp/chosaku/chosakuken/naruhodo/index.asp>

検索エンジンで適当に探すと、授業目的公衆送信補償金制度施行前の情報などが混在しています。なるべく公的な機関の情報にあたってください。

Q2 10人くらいの会議の席で、美作大学のことが掲載された新聞記事を人数分コピーして周知した。問題ないでしょうか？

A2 本学で、日本複製権センター（JRRC）との複写利用許諾契約を結んでいますので、この対象の新聞であれば認められる行為です。

(ほとんどの全国紙はカバーしています。地方紙は対象であったり対象外であったり様々です)

(対象物の確認は、JRRCのサイト「管理著作物DB検索」をご利用ください)

<https://jrcc.or.jp/>

仮に、本学が日本複製権センターと契約していなかったとすると、権利制限規定(例外規定)に当てはまらず、違法となる行為です。

(別途、著作者の許諾を取るという選択肢はあります)

Q3

鬼滅の刃の服装やマークの真似をして仮装し、大学祭案内のパンフレットに掲載し来客を図り、地域にも配布し、ポスターもお店に貼ってもらった。HPにも掲載した。問題ないでしょうか？

A3

いわゆる「コスプレ」も複製にあたります。著作権法第30条の私的利用など、限られた範囲内でしか行うことができません。

現状、こういった「コスプレ」等が認められているのは、著作者が「それくらいなら構わない」「かえって宣伝になってありがたい」など、黙認しているためだとお考え下さい。

黙認されることが多いとはいえ、それをポスターやWebで広報活動等に用いるのは避けた方が望ましいです。

参考URL

<https://kanegoonta.hatenablog.com/entry/2016/02/21/122342>

Q4 アニメキャラのプラバンやぬり絵を作り、イベントで販売しサークル費用に充てた。問題ないでしょうか？

A4 A3. 同じで、著作権法第30条の私的利用など、限られた範囲内で行うことができない行為です。
イベント等での実施、収益化、いずれも違法となる行為です。